

# 施設工学特論 I (2単位)

担当者氏名 牧恒雄・小梁川雅

## ◆学習・教育目標

各種農業土木施設の建設には、地形や気象条件、地域環境などといった要因が影響する。また、農業土木施設の建設が周辺環境に大きな影響を与えることもある。そのため、本特論では農業土木施設建設が自然環境に及ぼす影響を中心に講義を行う。この講義では、様々な視点から農業土木施設の果たす役割と意義を学ぶことで、広い視野を持った専門技術者の育成することを目的としている。

## ◆取り扱う領域（キーワードで記載）

バイオマスエネルギー    コンクリート工学    地盤工学    道路工学  
 熱力学

## ◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	資源の再利用・有効利用 循環型社会の構築に必要な農工連携について。 (1~7週)	建設廃材の有効利用、剪定枝葉のバイオマスエネルギー化について学び、地域循環のシステムを講義する。	資源の再利用・有効利用の現状と将来展望について学ぶので、多くの本を読んでおくこと。
2	持続的社会構築のための土木工学のあり方について (8~15週)	土木工学の社会的意義と今後の必要性について、過去の土木構造物構築の概念を通して考究する。	土木構造物の成り立ちや、基本設計について理解しておくこと。また社会情勢に関する知識が必要となる。土木工学の社会における位置づけを理解することが授業の狙いである。

## ◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

\_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ )

## ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

\_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ )

## ◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

レポート 70%，課題発表 30%

## ◆その他受講上の注意事項

農業土木用語事典を必ず持参すること。また、英文資料に基づき講義する場合もあるため、必要に応じて英和辞典を持参すること。